



9月7日 熊林重春さん（東三川）

主な内容

- 水稲初出荷・初検査
- 青年部食育活動
- 営農指導課のページ
- JA鹿児島いずみ来所
- 種子馬鈴しょ共選スタート
- ホクレン野菜類・花き品種展示会
- 高校生の就業体験受入
- 各地区の作業風景...etc

～ 稲刈り開始～

JAそらち南管内では9月7日より稲刈りが開始され収穫の秋を迎えました。

9月上旬には大雨が続き、その影響で稲の倒伏が相次ぎ、品質の低下が懸念されましたが、その後の天候が回復したこともあり、品質への影響はなく、刈取り作業は順調に進められました。

『慣れない作業に奮闘』

青年部食農教育活動

今年度も、青年部による食農教育が春先より実施されており、9月に入り各支部にて収穫作業が随時実施されています。

栗山支部では、町内・札幌市の親子を対象とした「第25回稲刈り体験ツアーinくりやま」が9月15日に開催され、約60名の親子が参加し、水田（青年部監事・細山拓也さん圃場）12aに作付されていた「ゆめぴりか」の稲刈り体験が行われました。

この時期としては、かなり気温が高く、蒸し暑い中で体験ツアーとなりましたが、子供達は楽しそうに稲を刈り取っていました。稲刈り終了後は、農協女性部の皆さんに作っていただいた栗山町産の米と野菜を使用した特製カレーライスで昼食をとり、毎年恒例となっている餅つき体験も行われました。



栗山支部稲刈りツアー



めったに経験できない餅つきも



由仁支部では脱穀体験も実施



みんなで記念写真（由仁支部）

また、三川支部では、三川小学校の全校生徒を対象に、学年毎で畑作物の栽培を実施しており、随時収穫作業が行われています。今後は、各学年でその栽培した食材を使用し、カレーライスやスイートポテトなどの調理実習も行う予定です。

由仁支部では、9月19日、由仁小学校5年生約30名を対象に、稲刈り体験学習が、青年部員の松井博靖さん圃場で開催され、「ゆめぴりか」の収穫が行われました。

残念ながら曇り空の中での稲刈りとなりましたが、春先に自分たちで植えた稲を一生懸命に刈り取っていました。

稲刈り終了後は、ミニダンプによる脱穀体験や実際にコンバインを稼働した刈り取り作業を見てもらい、子供達からは、驚きの声があがっていました。



馬鈴しょ収穫（三川支部）

「子実コーン収穫間近に」

転作畑の秋まき小麦の連作を止め、「土づくり」と輪作体系確立による生産性の向上を目指して開始した、飼料用トウモロコシの実穫り栽培（子実コーン）が5年目になり、今年は8戸の作付で合計約10ヘクタールが収穫を待っています。



なかなか面積が増えませんが、この子実コーンを取り入れた土づくりと輪作は、連作によって生産性の低下した畑を蘇らせてくれるとても有効な手段であると考え、試作を重ねてきました。

秋小麦の連作畑で輪作すると秋小麦の収量が増えました

連作の収量：257kg / 10a
輪作の収量：560kg / 10a

〈輪作体系〉

秋小麦～子実コーン～大豆～秋小麦
これは中央農試が、平成23年に栗山町の現地で試験した結果です。

右記は、長期連作により秋小麦の生産性が低下した畑で、子実コーンによる土づくりと輪作をした結果です。

秋小麦の収量が倍増しました。勿論、品質も向上して整粒歩合が90%を超えました（連作は73%）。



また、一昨年に子実コーンを作付けしたタマネギ畑（上の写真：オホーツク222）では、7月中旬の玉伸びと揃いが良かったので、収穫に期待していました。その結果、収量は6・8トンで、L玉以上の比率が95%という好結果でした。

このような子実コーンの導入による効果に関しては、来年まで中央農試が調査を継続することになっています。

さらに、収穫した子実を活用した地域ブランドの確立に向け、関係先と協同した取り組みの強化も検討中です。

この取り組みに賛同される方の参加をお待ちしております。

「水稻の育苗床土のリン酸過剰に注意して下さい」

昨年、水稻の苗が褐変して草丈が伸びず、使用できない現象が発生しました。数年前から発生していたそうですが、褐条病ではとの説もあり、調べてみましたが病気ではありませんでした。

土壌分析をした結果、リン酸値が非常に高く、石灰・苦土比もかなり高いことが解りました。

この様な条件下では、リン酸の過剰害による褐変症状が発生する

という、農試の成績がありました。そのため、今年は根が床土に伸びない方式での育苗をお願いした結果、正常な苗に育ちました。

床土の化学性の異常は簡単に直りませんので、床土の入れ替えをしてもらいました。

昨年の土壌分析結果を点検してみますと、トルオーグリン酸が100を超える方がかなりあります。

今年も育苗床土を総合分析に出して分析値を点検し、数値が高い場合は、リン酸を含まない肥料を選択するなどの対応が必要です。

放置しますと、間違いなくリン酸が貯まってしまい、障害が出ることがあります。

土壌の総合分析

既に FAX でお知らせしておりますが、今年も総合分析を以下のように受け付けております。ご利用下さい。

- ・受付場所：生産資材部、由仁営農センター、継立出張所
- ・受付期間：平成24年11月30日
- ・受付点数：1戸5点まで無料です
- ・その他の事項は、FAX をご覧下さい

豊穰の秋を迎える

平成24年産米出荷開始

9月7日より稲刈りが開始され、収穫最盛期を迎えました。今年、稲刈り開始直後に強い雨が続き倒伏が目立ちましたが、その後の天候の回復もあり、品質への影響はそれほど出る事はありませんでした。

9月13日には、栗山・由仁両地区で施設への受入が開始され、初出荷を記念しJAより記念品が贈呈されました。



由仁地区施設初出荷
庄司 真樹さん(川端)・熊林 重春さん(東三川)



栗山地区施設初出荷
塚本 政紀さん(北学田)・片山 肇さん(継立)



由仁地区個袋初出荷
熊林 重春さん(東三川)



栗山地区個袋初出荷
高瀬 新一さん(南学田)・中島 昌一さん(南学田)・片山 肇さん(継立)

また、個袋の初検査は由仁地区が9月13日、栗山地区が9月21日に行われ、厳密な検査の結果、見事全量1等米となりました。こちらも施設への受入同様JAより記念品が贈られ、順調な初検査を祝うとともに検査期間中に事故や怪我がないよう充分注意することを誓いました。

～平成24年度米穀受入状況～

9月27日現在

品種	出荷契約数量	共計契約数量	出荷実績	うち高品位	出荷率	高品位率
ほしのゆめ	4,496 俵	3,800 俵	60.0 俵	0.0 俵	1.6%	0.0%
きらら397	115,097 俵	115,000 俵	9,621.0 俵	468.0 俵	8.4%	4.9%
ななつぼし	57,672 俵	57,000 俵	3,819.0 俵	761.5 俵	6.7%	19.9%
おぼろづき	15,168 俵	13,000 俵	562.0 俵		4.3%	
ゆめぴりか	59,901 俵	59,000 俵	21,500.0 俵	6,900.0 俵	36.4%	32.1%
あやひめ	859 俵	700 俵	0.0 俵		0.0%	
大地の星	1,228 俵	900 俵	0.0 俵		0.0%	
吟風	840 俵	840 俵	0.0 俵	0.0 俵	0.0%	0.0%
その他	83 俵	0 俵	0.0 俵		0.0%	
計	255,344 俵	250,240 俵	35,562 俵	8,129.5 俵	14.21%	23.2%

*高品位率はきらら・ななつ・ほし・ゆめぴりか・酒米が対象

九州から視察に

JA鹿児島いずみ来所

8月から9月にかけて、種子馬鈴しよの出荷先であるJA鹿児島いずみから、大勢の関係者の方々がJAそらち南へ視察に訪れました。

まず8月27日には、JA鹿児島いずみの女性部の方々5名が視察に来られて、種子馬鈴しよの収穫作業を手伝っていかれました。来訪期間中は30度を超える真夏日が続きましたが、訪れた女性部の方々は「湿度がなく気持ち良い」と話しながら慣れた手つきで作業をこなしていかれました。

また9月5日には、同じくJA鹿児島いずみの馬鈴しよ生産部会の方々総勢67名の皆様が訪れ、今年の種子馬鈴しよの品質などを確認されていきました。

鹿児島へ出荷された種子馬鈴しよは、12月上旬に植え付けされ3月に新じゃがとして収穫されることとなります。



女性部の方と一緒に（正井農場にて）



馬鈴しよ部会の方々の圃場視察

地元農産物に笑顔の児童ら

由仁のものの学校給食



今回使われた農産物の説明を行う中島専務



由仁小学校6年生の児童たち

9月12日、由仁町の小中学校、保育園、幼稚園の児童約600人を対象に、町内で収穫された農畜産物のみを使った「由仁のものの学校給食」の取り組みが始まりました。

子供たちに食に関わる人々への感謝と農業への理解を深めつつ、食の大切さを学んでもらおうとJAそらち南と由仁町が協力し、今月よりスタートしました。

第1回目となった今回は、米・芋・人参・玉ねぎ・豚肉を使った、カツカレーライスとデザートのおどろが提供され、給食を味わった生徒からは「こんなにおいしい食材があることに驚いた」「いつもよりおいしく感じた」などの感想が聞こえ、おかわりする姿が見受けられました。

食育と地産地消を推進するため、毎月12日を「由仁のものの学校給食の日（食育の日）」と定め、来年3月まで取り組みを行います。

〜日本一の生産地が本格始動〜

種子馬鈴しよ共選開始

9月27日、栗山地区富士の馬鈴しよ集出荷貯蔵施設において種子馬鈴しよの共選が開始されました。

管内では19品種の種子馬鈴しよが栽培されており、初日にはデジマとニシユタカの選別が行われました。作業開始前には、大友組合長より「ケガや体調には十分に注意し作業してください。」と挨拶があり、従業員の方々は気を引き締めて作業に入られたようです。

それぞれ集荷された種子馬鈴しよはコンテナからレーンに流れ、規格毎に選別され、ダンボールや紙袋に詰められて全国に出荷されます。

由仁地区でも10月1日より作業が開始されており、平年並みの出荷量が予想される今年は、12月まで選別作業が続く予定です。



厳しい目で選別される



製品はロボットにより積み上げられる

〜農協の業務を体験〜

高校2年生が就業体験



栗山高校生（本所生産資材部）



岩見沢農業高校生（由仁支所金融店舗）

9月13日〜14日に栗山高校生2名が、9月19日〜21日に岩見沢農業高校生1名がそれぞれ就業体験学習（インターンシップ）で農協を訪れ、実際の業務を体験していききました。

学生達は、生産資材部で陳列棚の清掃や事務作業、金融部では実際に受付業務などを体験し、緊張しながらも礼儀正しく真剣に取り組んでおりました。また、時間を過ぎても与えられた事をやり遂げようとする姿や、覚えようとする姿勢に感心させられる場面もありました。

職業現場に身を置き、実際の仕事に必要な知識や技術を学ぶとともに、働くことの難しさや喜び・コミュニケーションの重要性などを体験し、非常に短い期間ではありましたが、今後の進路選択や社会に出た時に役立つ貴重な経験をしたことと思います。

新品種が続々登場

ホクレン野菜類・花き品種展示会

9月7日、第10回ホクレン野菜類・花き品種展示会が長沼町のホクレン農業総合研究所長沼試験農場において開始されました。

農場内では玉ねぎ、南瓜、トマトなどの野菜やトルコギキョウ、スターチスの花きが展示されており、中でも花きの展示場所には大勢の人が訪れ様々な品種を見比べておりました。

当JAの生産者の方々も訪れており、今後の営農の参考にしようとホクレンやメーカー担当者に質問をしている姿が見受けられました。



トルコギキョウの花を見学

収穫前の最終確認

第2回青空教室



南学田での様子

9月4日、今年2回目となる青空教室が栗山地区と由仁地区でそれぞれ開催されました。

空知農業改良普及センターより、今年の気象経過と水稻生育状況についての説明があり、「今年は穂数が多く遅れ穂や褐変穂も散見されるが、順調な登熟が見込まれる。遅れ穂の登熟を待つと刈り遅れになるので、ご留意願いたい。」と適期収穫に向けての注意点が挙げられました。

また、小麦栽培についての説明も行われ、今話題のゆめちからの品種説明や試験成績の報告も行われました。

日頃からの意識が重要

由仁支所防犯訓練

9月12日由仁支所金融店舗において防犯訓練が実施されました。

拳銃を持った強盗が突然押し入り、現金を要求するという想定で模擬訓練が行われ、栗山警察署員扮する強盗が窓口の女子職員に拳銃を向け「金を出せ」「動くな」「早くしろ」と脅し、現金を手にすると走って逃走、職員数名がそれを追いかけて、カラーボールを投げつけるまでを経験しました。

その後、駆け付けた警察官に犯人の顔や特徴を伝えましたが、一瞬に近い状態で犯人の特徴をつかむことは難しく、訓練の大切さを実感しました。



由仁支所での防犯訓練の様子

車両諸費用保障特約のススメ

今回は「車両諸費用保障特約（通称：車諸費）」についてお話します。

新規申込みや継続の時にJA職員から「車両諸費用保障特約はいかがですか？」とすすめられた経験はございませんか？

この特約は、ご契約のお車に発生した損害に伴って生じた、諸種の費用（代車費用、陸送等費用、宿泊費用、帰宅等費用）あるいはご契約のお車に積載していた日常生活用動産（積載動産）に生じた損害に対して、共済金をお支払します。

共済金の区分	共済金額（限度額）	お支払する共済金
代車費用共済金	代車費用共済金日額×30日※1	1日あたりの代車借入費用（実費）×代車使用日数
陸送等費用共済金	10万円	修理完了後のご契約のお車の運搬費用に要した費用（実費）
宿泊費用共済金	1万円（被共済者1名につき）	緊急宿泊（1泊）を余儀なくされたために追加的に要した費用（実費）※2
帰宅等費用共済金	1万円（被共済者1名につき）	公共の交通機関の利用を余儀なくされたために追加的に要した費用（実費）※3
積載動産損害共済金	30万円	積載動産に対する損害の額の合計（実費）

※1 原則として事故の日から30日となります。

※2 飲食等に要した費用は含みません。

※3 車両損害が生じたとき以後24時間以内に利用した場合に限ります。

例えば こんな時に役立つのが「車両諸費用保障特約」です。

【ケース1】お互いに過失が発生する事故にあった場合

■相手方損保から代車（レンタカー含む）の提供を拒否された

代車費用 5,000 円×18 日（修理期間分）＝90,000 円

【ケース2】知床方面へ日帰り旅行に行き、帰宅途中の夜中に北見市内で事故にあった場合

■栗山町内に居住のため、家族4名で緊急宿泊し、翌朝にJRにて帰宅

宿泊費用 約 6,000 円×4 名＝24,000 円

帰宅費用 約 8,000 円×4 名＝32,000 円

陸送費用 30,000 円（北見市内の工場で修理完了後に栗山町まで陸送）

合 計 86,000 円

JAに是非ご相談ください。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。

農業用廃プラスチックの集積について

リサイクルでクリーンな農業環境を守る

安全・安心な農畜産物を、消費者に提供していく上で、廃棄物の適正処理や有効活用は、基本的な取組の一つです。特に農業用廃プラスチックは、法律で保管・運搬・処分などの方法が規制されており、資源としてリサイクルすることが大切です。

つきましては、JA として、次により農業用廃プラスチックの集積を行うことといたしましたので、ご利用願います。

◆実施日： 栗山地区・由仁地区 平成24年11月中旬予定

(施設運営の都合がありますので、実施日については決定次第FAX致します。)

◆集積場所： 古山営農センター計量所にて計量後、指定場所へ集積

◆集積受入時間： 午前9時00分～午後3時30分まで(時間厳守とさせていただきます。)

◆集積品目：

農ビ類 (塩化ビニール類)	農ポリ類 (PO系フィルム)	その他	(受け入れ出来ないもの)
・ハウスビニール ・ロールパック ・スタックビニール ※農ビと印字されているもの	・ラップフィルム ・肥料用ポリ袋 ・マルチフィルム ・ポリポット ・農薬ボトル等 ・PPトワイン ※ノポリまたは「農PO」、[PO] [PE]と印字されているもの	・塩ビ管 ・塩ビ系波トタン ・ポリ系容器タンク ・ビニールホース ・灌水チューブ ・各種ネット類 (金具付き不可)	・硬質系塩ビ類 ・FRP系容器タンク ・家庭から出る廃プラ ・生分解性マルチ ・スタイロフォーム ・発泡スチロール ・長靴 ・カップ類 ・ゴム製品

◆処理単価： 18円/kg程度(運賃込み)

※運賃を含んでいるため、処理単価の前後が予想されますが、その旨御了承下さい。

※11月末に7月分と11月分を合算して引き落とす予定です。

◆注意事項

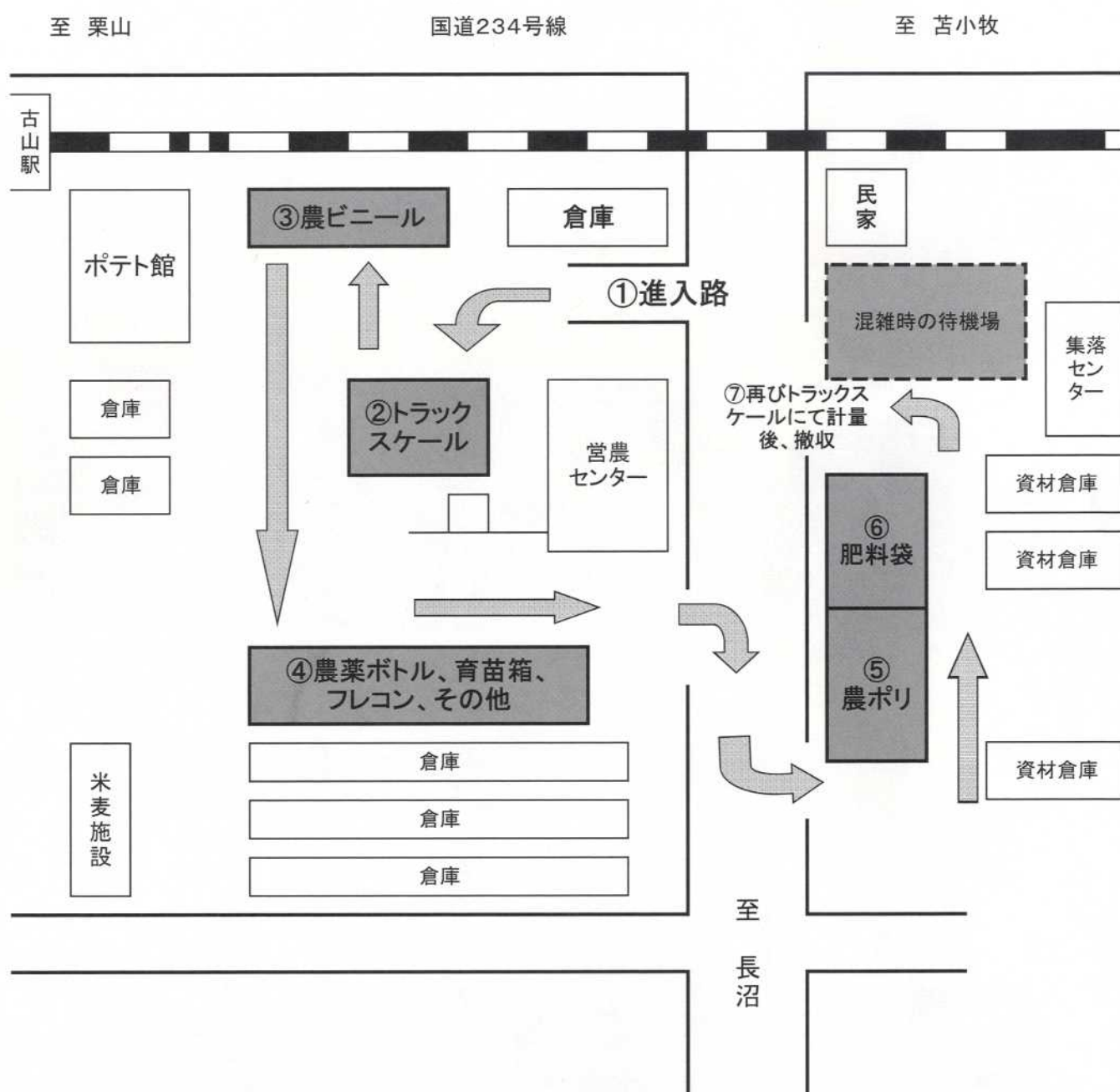
- ・農ビ類・農ポリ類は必ず分けて折り畳み、紐で縛って下さい。大きさ、重さは一人で持てる程度にして下さい。
- ・肥料袋は肥料袋のみで結束して下さい。
- ・育苗箱は持ちやすい大きさで結束して下さい。
- ・農薬空ボトルはキャップを外し、中の農薬を水洗い後、完全に空にして下さい。以上の処理がされていない農薬ボトルは受入できません。
- ・金属や石、砂などの混入物は取り除き、乾燥させて土を落として下さい。土や水分を多く含んでいると重量が増え処理費用も割高になります。

廃プラの適正な分別・処理に努めましょう

問い合わせ先

JA そらち南 営農部農業振興課 (TEL 0123-72-1408)
由仁営農センター (TEL 0123-87-3312)

H24 農業用廃プラ搬入経路



～ 注 意 事 項 ～

- 1、雨天の場合は集積場所が多少変更になります。
- 2、混雑時は集落センター前にて待機していただきます。
- 3、混み合い状況を見て、集積する順番を変更する場合があります。
- 4、大型車両が多数通ります。安全運転で事故の無いようお願いいたします。
- 5、午前、午後の開始直後は特に混雑が予想されます。

各地区の作業風景など



藤田 佳丈さん（岩内）
9月14日 稲刈り作業



中谷 保さん（南学田）
9月14日 稲刈り作業



伊月 利勝さん（北学田）
9月14日 稲刈り作業



岩花 義勝さん（南学田）
8月31日 そば収穫



斉藤 寛志さん（川端）
9月17日 スナップ収穫



湊野 巖さん（湯地）
9月12日 トルコギキョウ選花



我が家の愛取(アイドル)



ゆな
佑奈ちゃん(女の子)
平成24年8月6日生まれ
古山
お父さん：横井 康弘さん
お母さん：早織さん

1番可愛く感じるときは？
お風呂で気持ちよさそうな顔をしているとき

どんな子に育って欲しい？
健康で明るく素直な子になって欲しい



あきと
暉人くん(男の子)
平成24年7月31日生まれ
南学田
お父さん：井澤 智明さん
お母さん：紗裕理さん

1番可愛く感じるときは？
舌を出してるときや笑ったとき

どんな子に育って欲しい？
わんぱくで大きな子になって欲しい



ここな
心那ちゃん(女の子)
平成24年7月30日生まれ
東三川
お父さん：森 信樹さん
お母さん：理恵さん

1番可愛く感じるときは？
おっぱいを飲んでいるとき

どんな子に育って欲しい？
優しく健やかに育って欲しい

営業時間変更のお知らせ

11月より営業時間が下記の通りとなります。

ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

営 業 時 間	平 日	土日祝祭日
事 務 所 (金融部門を除く)	8 : 30～17 : 00	休み
生 産 資 材 部 営農センター	8 : 30～16 : 00	
給 油 所	7 : 30～20 : 00	
直 売 所 (毎週日曜日定休)	10 : 00～17 : 00	

※直売所のみ10月より変更となっております。

退職のご挨拶



三川出張所

大田 義治

定年退職に当たり組合員の皆様一言お礼申し上げます。

私儀、この度、九月三十日をもちまして定年退職致しました。

昭和四十六年五月、旧由仁町農業協業組合に奉職以来四十一年五カ月の永きに亘り、組合員の皆様をはじめ、役職員の方々のご支援、ご協力を賜り、大過なく務めを終える事が出来ました事を心から厚くお礼申し上げます。

合併により三年が経過し、年々大変厳しい農業情勢では有りますが、組合員の営農と生活、負託にこたえられる組織として、役職員一丸となり地域農業の発展の為、頑張ってきたいと願っております。

尚、私事ですが、定年退職再雇用により、引き続き三川出張所にて勤務させて頂く事になりましたので今後とも、組合員の皆様をはじめ、役職員の方々のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、そらち南農協のますますのご発展と組合員並びに役職員皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。

第9回理事会報告

日時 平成24年9月28日(金)
午後6時00分より第9回理事
会が開催され、原案通り承認
されました。

【報告事項】

総務・経済合同委員会報告
農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号
職員就業規則並びに準職員
就業規則の一部改正につい
て

議案第2号
土地建物賃貸借契約の締結
について

議案第3号
固定資産(土地)の取得に
ついて

議案第4号
役員視察研修の実施につい
て

議案第5号
青年部海外農業視察研修に
ついて

議案第6号
JA北海道女性協議会海外
農業視察研修について

行事予定

10月 19日 第10回理事会(予定)
28日 青年部道外視察(3日まで)
29日 役員海外視察研修(5日まで)
31日 経済部門棚卸
11月 3日 文化の日



Aコープ 10月・11月の売り出し予定

10月

12~13日...週末お客様感謝セール
16~17日...88円均一
19~20日...旬鮮情報市(夕市)
23~24日...得の市
26~27日...秋の収穫祭
30~31日...月末大市

11月

2~3日...お客様お買得市
5~6日...ダイナマイ2Day's
9~10日...週末全力祭



A-COOP 由仁店・三川店

○三川店...毎週日曜日休み

組合員の動き

▽正組合員戸数	▽組合員数	正組合員数	うち法人	准組合員数	うち団体
904戸	3,300名	1,533名	49名	1,797名	49名
(8月31日現在)					
★おくやみ申し上げます。	亡くなった方	新入	田中	中井	中井
49歳	99歳	89歳	73歳	86歳	86歳
栗山町富	由仁町古	由仁町中	栗山町緑	栗山町緑	栗山町緑
住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所



編集後記

食育の一環として9月より始まった『由仁の学校の給食』。「おいしい」と笑顔で言う素直な子供達の表情を見て、農業に携わる仕事をしていて良かったなと思えた瞬間でした。日頃何気なく食べている食糧は、生きていく上で欠かせないもので健康で充実した生活の基礎となるもの。命の根源となる農業という仕事を支えていけるよう頑張らねばと思いました。

話は変わり、順調な生育をみせた水稲。このまま稲刈り作業が終わってくればと思っていた矢先に大雨が。管内でも随分と倒伏があり、刈取り作業に時間のかかった方も多くいたのではないのでしょうか。隣の岩見沢市では洪水被害も発生し、簡単に自然災害で発生するんだなと思い知らされました。それにしても冬は大雪:夏は大雨:大丈夫ですか?



そらち南 くみあいだより

2012 10月号 Vol. 45

■発行 2012. 10. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷